

16 「テンプラは何で食べる？」

小さい頃、テンプラは醤油で食べていた。食堂で食べるときはテンツユで食べる。フライはソースで食べる。そうして食べるのが当然と思っていた。ところが、九州で生まれ育った妻はテンプラをソースで食べるという。これには驚いた。まさか！という感じだったが、妻は当然テンプラはソースで食べるのだという。

この疑問を何年もずっと持っていたが、それほど重要な問題でもないので、そのままになっていた。そんな時、偶然図書館で『全日本食の方言地図』という本を見つけた。

この本の著者も同じようなことを疑問に思っていたようで、調査を敢行したのだった。

日経新聞のホームページ「NIKKEI NET」に「食べ物 新日本奇行」というテーマで投票を募り、都道府県別に集計して数値化し日本地図を作った。2002年のことである。

その中に「テンプラは何で食べるか？」が載っていた。そして、これを見ると確かにソースでテンプラを食べる地域があることがわかった。それも関西から西はほとんどなのである。「付 - 4」参照

「全日本食の方言地図」にはそのほかに、

- ・納豆が好きか？嫌いか？
- ・「肉」といえば何の肉？

など、関東育ちの私には「そうだったのか！」と思わせるテーマが多くとても興味が持てた。

ちなみに「肉」といえば何の肉？とはどういうことかということ、関西では肉といえば「牛肉」のことだからだ。関東育ちの私は、今でこそ牛肉も普通に食べるが、子供の頃は肉といえば「豚肉」のことだった。まあ、北京では肉といえば「羊肉」のことだということで、最もポピュラーなものが何かは地域によって変わるものであり、それはある意味当然といえないこともない。

我々は自分の育った環境が世の中の標準と思いがちだが、町、県、地方、国、、、と世間は広い、広げていけば東アジアからアジア全体、ユーラシア、北半球、そして地球へとどんどん拡大していく。その中で常識は変わっていくのであり、そういうものだということを知らなくてはいけない。

しかし、知っているほうがいいのか、知らないでいるほうがいいのかは難しい問題である。知らなかったほうがよかった、という場合もないとはいえないと思えるからだ。

(2011.05.07)